

木で見直す、無垢のある暮らし。

WOOD ONE

Toward a Creative
Architectural Scene.

vol.2



無垢と
暮らす。

その
温もりと
共に。



開放的な吹き抜けの空間と、 無垢の白いキッチンとの出会い。

あこがれの白を貴重にした吹き抜けの空間。スージーとの出会いから、一気にイメージが膨らみ、
無垢の温かみと洗練されたイメージを合わせ持つ場所が生まれる。実際にスージーを空間に取り入れた例を
取材させていただき、無垢のキッチンから広がる新しい暮らしをご紹介します。



Lifestyle with su:iji
スージーのある暮らし

Case **01**

こんなキッチンと暮らしたい。 新しい空間イメージが膨らみ、 インテリアへのこだわりを満たしていく。

和風のお住まいをリノベーションされるに際して、ダイニング・キッチン、居間、和室の3つの部屋をLDKとして一つにつなげ、吹き抜けのある開放的な空間にしたいと望まれていたTさん。「ショールームでスージーを自分の目で見て、一目惚れでした」と話してくださいました。白を基調にして、木の温もり感じられるLDKをイメージしてキッチンを検討されていましたが、無垢で白いスージーは空間との統一感があり、Tさんの空間へのイメージにぴったりだったそうです。水栓は手をかざすと出水・止水ができるグースネック、レンジフードも空間とキッチンに合うものをと、ご自分で実際に見られて決められたそうです。休みの日などはTさんご自身も料理をされるそうですが、奥行きのあるワークトップは調理もしやすく、出来た料理をワークトップのダイニング側に一度おいてから食卓へ運ぶなど、パーティ型のキッチンプランは「かなり使いやすい」と語られました。

床はウッドワンの「無垢フローリングピノアース」で、^{うつく}浮造り仕上げの感触が足元からも伝わってきます。「普段はスリッパを履いていますが、スリッパを履くのを忘れても温かさがあり、休みの日などは直接床に寝そべったりもしますが、とても気持ちがいいですよ」とTさん。建具や階段もウッドワンの無垢で統一され、「白というと、色としては寒いイメージもありましたが、木の温もりに包まれている感じがしてとても満足しています」とTさんが話される通り、洗練された印象の中にも落ち着きを感じさせる空間になっています。家具やインテリアアイテムなどもTさんご自身が見つけたお気に入りのものをコーディネートされ、空間へのこだわりが感じられます。LDKがつながって新しくなった空間には、自然光もふんだんに取り入れられ、時間の経過とともに移りゆく無垢の表情は、暮らす人に心地よい毎日をもたらしているようです。





Lifestyle with su:iji | Case 02

スージーのある暮らし

無垢の暮らしの良さをリアルに 伝えてゆくプレゼンテーションの空間。

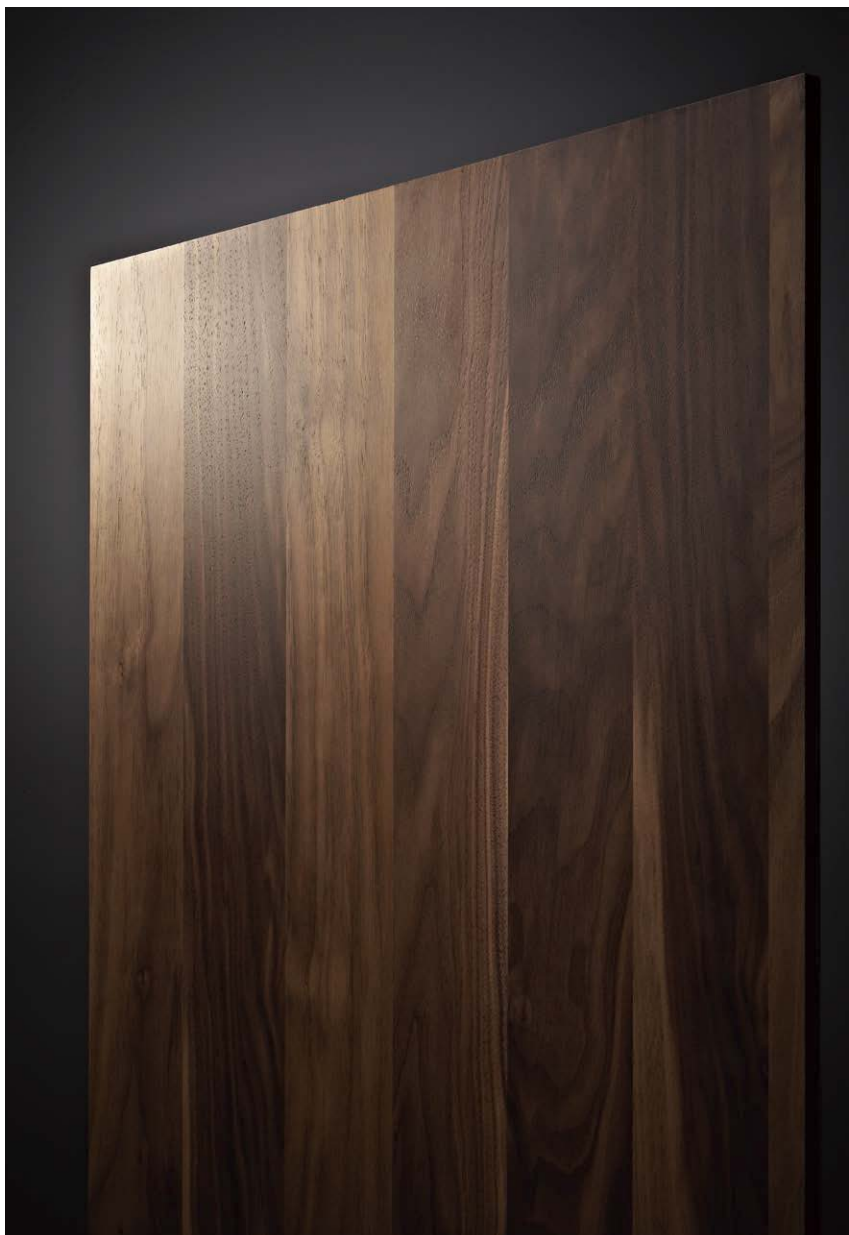
福井県丹生郡は越前町。創業以来約40年間、地域の人々に住宅を提供しつづけるK様。今回、お客様と最初に打合せする部屋をリニューアルされ、そこに、無垢のキッチン「スージー」を取り入れられました。これまでは、ウッドワンの無垢の製品を使い、たいと思っても、なかなかお客様へその良さが上手く伝えられなかったそうです。そんなときに、家づくりをともにする方と「無垢の良さ」について話す機会があり、30年来改修していなかったスペースをスタジオのようにして、無垢の良さをお客様へ伝えたいと思われたそうです。ウッドワンの無垢のキッチンとドアをメインにして、家具や照明、壁や梁なども素材感あるものを選び、20代後半の方をターゲットにした空間を作られました。キッチンの仕様や設備は、できるだけ手の届きやすい仕様にあえて抑え、それでいて充分に無垢のキッチンの魅力が暮らしに広がることを伝えています。実際に、それを見られたお客様が、打合せスペースに在るものより間口の広い270cmのスージーを採用されたそうです。また、最初はシャープなイメージのインテリアを望まれていたお客様も、ここで打合せをしているうちに「木を感じる暮らしの良さ」を実感され、そちらの方へ方向を変えられる方もおられるそうです。あくまでも自然体で、無垢の良さが人々に伝わっているようです。スージーの白を選ばれたのは「個人の趣味としてはもう少しスタイリッシュかもしれないが、20代後半からの世代の方へはやはり白がいいと思い決めました」とKさん。このスペースは、第1弾として考えておられ、新しい住まいへの夢を描くお客様の立場に立って、第2弾、第3弾と、改装も考えていきたいと語っていただきました。地域の情報紙にも取り上げられる注目のスペースは、これからも進化を続けながら、本当に心地よい住空間を人々にプレゼンテーションしつづけます。



無垢のキッチン SU:iji [スイージー]

ニュージーパイン[®]*1、メープル、オークに加えて新たにウォールナットが加わり、無垢の樹種が4種類になります。

※1 ニュージーパイン[®]/ウッドワンがニュージーランドで計画的に植林、育林したラジアータパインの登録商標です。



無垢のキッチン SU:ijiに ウォールナット新登場

NEW

優しい風合いと、重厚な落ち着き。
4大銘木にも数えられる人気の樹種。

ウォールナットは、オーク、マホガニー、アッシュと並んでヨーロッパの家具材を代表する4大銘木の一つ。美しい木肌と狂いの少ない材質が特長で、欧米では古くから家具材や装飾用材、あるいは楽器の素材としても利用されてきました。その重厚感のある美しい無垢材のキッチンが今年登場します。無垢のキッチンsu:ijiの世界が、また広がります。

Walnut new

2013年5月発売予定

※左の写真は面材サンプルを撮影したものです。実際の製品とは異なります。

素朴にさわやかに。
居心地のいい家。 Maple



キッチン扉:メープル(落し込み框組フラットパネル扉) 床材:ニュージーパイン[®]

[標準I型キッチン]メーカー希望小売価格 ¥949,200～

シンプルだけど温かい。
お気に入りの北欧風。 Pine



キッチン扉:ニュージーパイン[®](落し込み框組フラットパネル扉) 床材:オーク

[標準I型キッチン]メーカー希望小売価格 ¥814,400～

洗練された寛ぎと
広がりを感じる空間。 Oak



キッチン扉:オーク(落し込み框組フラットパネル扉) 床材:ブラックチェリー

[標準I型キッチン]メーカー希望小売価格 ¥949,200～

カンタン模様替え。無垢の床マット「ぴたゆか」

P I T A Y U K A



本物の木の良さをもっと身近に。
置くだけ床マット。

木のぬくもり、優しい手ざわり。自然な調湿や香りがもたらす快適な空間。無垢の良さをスペースやライフスタイルに合わせて、手軽に取り入れたい。そんなニーズに【ぴたゆか】が応えます。賃貸住宅やワンルームにも、子供の遊び場所、部屋のコーナーの有効活用など、無垢を感じる暮らしをお届けいたします。



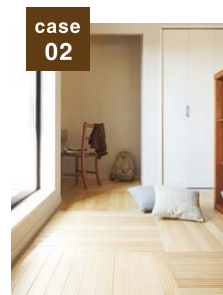
無垢の床マット ピたゆか

Size:825×825mm 厚6.5mm
Color:ナチュラル色

¥19,000(税抜) 2枚入り



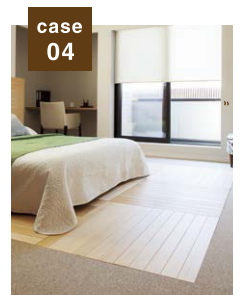
リビングに無垢の良さを取入れる。



ワンルームにちょっとした無垢のスペースを。



子ども家族もみんな安心。

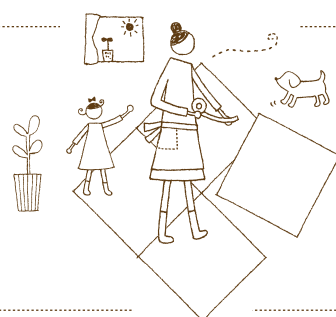


寝室を快適にする自然の恵み。



／ たのしく カンタン！ ／

女性1人でも簡単にできる床の模様替え。
置くだけなので、今ある床をはがす必要ありません。





空と水と土と。

窓を開け放つと感じる、

陽のあたたかさ、水のやさしさ、土のなつかしさ。

空の色は時間とともに澄んだ青から柔らかな橙へと美しく変化する。

外の空気を思いつきり吸い込んで深呼吸すれば

心も解きほぐされていくような気持ちになれる。

それは、どれだけ世の中が変わったとしても、

自然を身近に感じながら暮らすことの大切さを覚える瞬間。

朝は早く目を覚まし、夜は心地よい疲れを感じながら

穏やかな眠りにつく。

旬の食材をいただき、新しい季節を想い描きながら種をまく。

家族とかけがえない時間を過ごし、

友人と語り合ううちに季節が巡り、

それぞれが別のシーンのようで、全てがつながっている。

空と水と土と。

さまざまな人やモノが自然の営みのもとでつながる日々が、

私たちの暮らしに安心と豊かさを与えてくれる。

2013,su:iji

編集後記

From Editor

無垢という言葉。その意味は「けがれがなく純真なこと。うぶなこと。また、そのさま。」ということになります。建築では、一本の木からとれるつなぎ目のない材木を無垢材といいますが、木が持っている質感や風合いがある自然素材のことを指しています。今号で取材に協力いただいた方が無垢のキッチン「スージー」を導入された理由は、そんな無垢の良さが確かに伝わっていたからでした。

取材の中で感じたことは、無垢を暮らしに取り入れられる方は、インテリアへの想い入れがあることに加えて、その方自身も自然体であること。新しい空間への満足感がそうさせているのかもしれませんが、言葉にするまでもなく、しあわせ感が伝わってくるようでした。「無垢と暮らす」人との出会いは、本当に有り難いこと。今号の表紙のタイトルは、そんな気持ちでつくりました。(T.S.)

スージー取材物件
募集中

詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

※2013年時点の施工現場のため、現在は仕様変更・生産終了となったアイテムが含まれる可能性があります。

株式会社 ウッドワン

〒738-8502 広島県廿日市市木材港南1-1 TEL: (0829) 32-3330 FAX: (0829) 32-5524

キッチンお客様相談窓口

フリーダイヤル 0120-641-265

[受付時間] 平日/10:00~12:00、13:00~17:00 [休日] 土日・祝日

[ホームページURL] <https://www.woodone.co.jp/>

QRコードからでも
サイトへ移動できます。
※携帯電話の機種により、
操作方法が異なります。
取扱説明書をご参照ください。



カタログ及び商品に関する最新情報は
ウッドワンキッチン 検索 をご覧ください！